

ディソーバ

油中水分除去装置

D30型

DISSORB



高粘度やエマルジョン等、いかなる油においても
水分値100ppm以下 の管理を実現！
除去された水が見える ので効果がすぐわかる！！

水分除去の必要性

潤滑油やギヤ油において、油の粘度や性質は油の機能に関わる非常に重要な要素です。油中に混入した水は、それらの要素に多大な影響を及ぼします。

水混入による悪影響

- ・ 油の粘度の低下
- ・ 既設フィルタ能力の低下
- ・ 酸化・乳化
- ・ 錆やバクテリア、腐食の発生

水混入の問題をそのまま放置しておくとも、状況は更に悪化しやがて**機械の故障**を引き起こします。

ディソーバの特徴

通常、油中の水分を除去する方法として次の装置があります。

- ・ 水分吸着フィルタ
- ・ コアレッサフィルタ
- ・ 真空脱気式
- ・ 遠心分離機

ディソーバの独特な原理による除水能力は上記装置の性能をはるかにしのぎ、エレメントなどの消耗品の発生もありません。

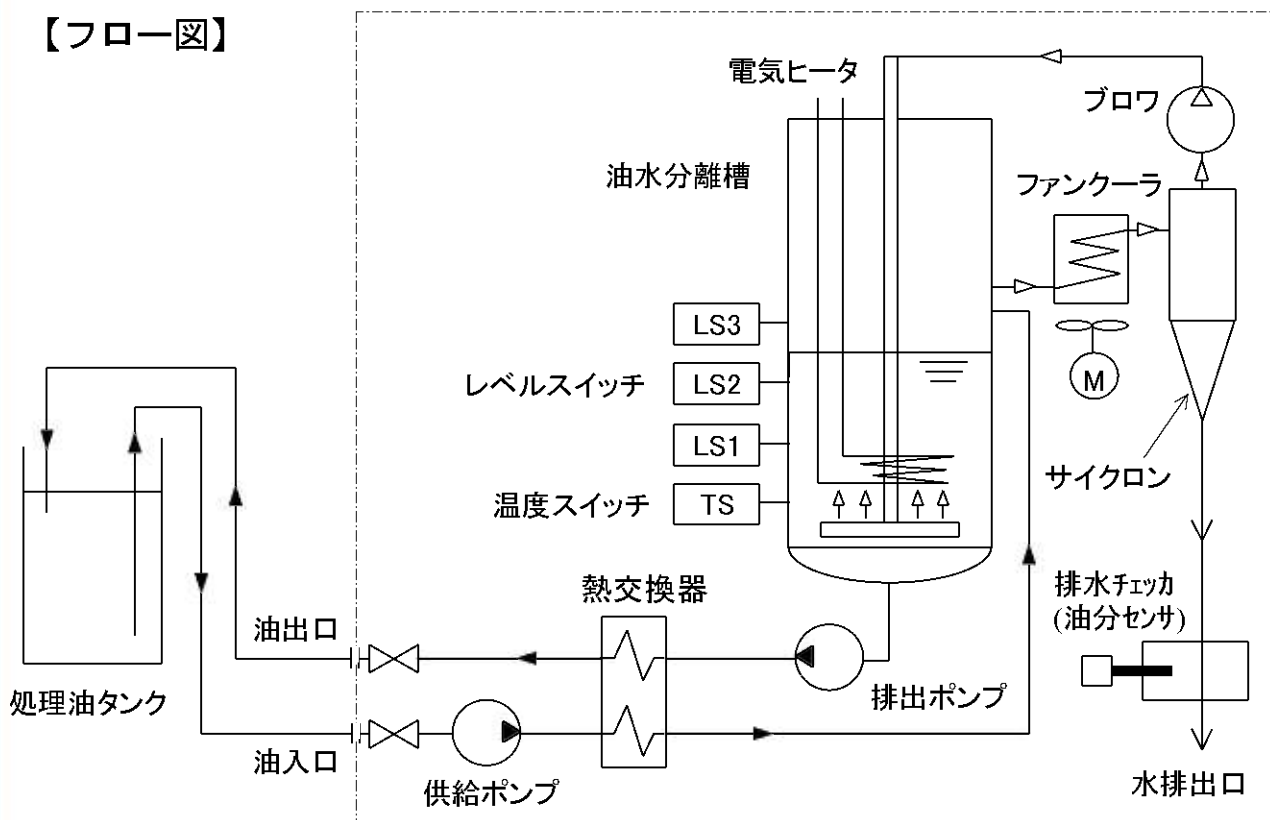
さらに、除去された水を目視確認できますので、必ずご満足いく結果が得られます！

ディソーバの原理

油水分離槽内で温められた油に、冷えた空気がブロワにより送り込まれます。空気は高温の油により急激に熱せられると、油中の水分を多量に吸収するという原理を応用しています。

1. 供給ポンプにより含水処理油は、油水分離槽に投入されます。
2. 油は電気ヒータにより熱せられ、分離槽に滞留したあと、排出ポンプによって処理油タンクへ戻されます。
3. 油水分離槽にはファンクーラによって冷やされた空気がブロワで送り込まれます。送り込まれた空気は高温の油中で気泡となり、分離槽の底から上へと移動します。油中の水分を十分に吸収した空気は、ファンクーラによって冷やされ、空気中の水分が凝結します。
4. 凝結により生成された水は、サイクロンにより排出され、空気は再びブロワにより油水分離槽へ送り込まれます。
5. 供給空気は循環するので新しい空気を一切必要とせず、雰囲気の良い現場におきましても、汚れを油中に混入することはありません。
6. 供給ポンプと排出ポンプは、熱交換器に接続されており、排出側の油の熱を供給側の油の温度上昇に利用しています。
7. 排出ポンプの出口側には、スラッジ除去と気泡除去の目的で、ROTフィルタを追加することがあります。

【フロー図】



D30型の性能テスト

分析項目	清浄前	1パス	2パス	3パス	5パス
水分値 (ppm)	16,470	2,127	603	249	64
動粘度 (40°C mm ² /s)	85.15	-----	-----	-----	81.1
水分除去率 (%)	-----	87.1	96.3	98.4	99.6

テスト方法：潤滑油（80mm²/s）107リットルに 1000cc の水を添加して十分に攪拌させた。
その潤滑油をD30型を使用して2.7L/minで循環清浄させながら 1、2、3、5パス時に
装置出口において油をサンプリングし、水分値等の分析を行なった。

仕 様

型 式	D30	D90
流量 (L/hour, 50/60Hz)	132/162	1080/1296
最大水分除去能力 (L/hour)	2	16
処理後の水分濃度	100 ppm 以下	←
消費電力 (kw)	4	電気ヒータ仕様 : 27.2 スチームヒータ仕様 : 9.2
電 源	AC200V 3φ (400V仕様はオプション)	←
寸 法 (mm)	1350W × 720D × 1600H	1615W × 1430D × 2380H
重 量 (kg)	280	2000
装 備 品	供給ポンプ、排出ポンプ、エアブロワ 排水チェッカ（油分センサ）、タッチパネル操作盤	



株式会社 **アメロイド日本サービス社**

本社 〒231-0028 神奈川県横浜市中区翁町1-6-12

TEL 045-681-5968 FAX 045-681-5999

http://www.ameroid.co.jp E-mail info@ameroid.co.jp